

こんなカン違いや思い込みしてませんか……

記憶違いや間違った言動は 正したり注意したほうがいい



Q

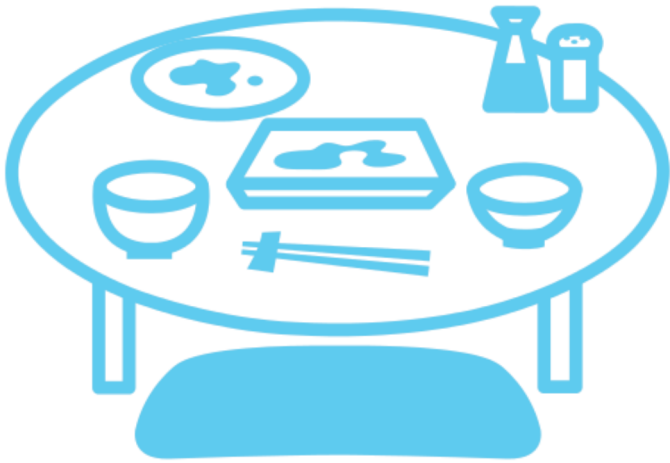
認知症の母が、「ご飯を食べていない」と頻繁に言います。「ゆきき食べたでしょ」「言ったよ」「あら、そうだった？」と答えるものの、数分もしないうちに「まだ食べてないわ」と言い始めます。間違いを修正したり注意したほうがいいのでしょうか？ イライラしてつい口調もきつくなってしまうです。

●●●認知症であれば当然の反応

A 認知症の方には記憶障害があります。ご本人は覚えていないし、思い出せません。また、覚えられないのです。自分の力ではどうにもならないことなのです。まずは、そのことを理解して対応することが大事です。ですから、食べたことを忘れてしまうのも当然の症状・状態だということなのです。つい、「何度言ったらわかるの！ 今食べたでしょ！」などと声を荒げたくなる気持ちはわかりますが、それはあまり意味がないでしょう。

●●●「指摘」「注意」「修正」は人間関係を悪くする

認知症の方にとって、記憶違いや間違いを指摘されたり注意される



のはとても嫌なことです。否定したり、ごまかしたりするのが普通で、人によっては自信をなくしてふさぎ込んだり、「そんなことはない！」と怒りだすこともあります。したがって、「指摘」「注意」「修正」は、ご家族との人間関係を悪化させるばかりか、ご本人のストレスを高めさせ、症状や状態を悪化させることにもなりかねません。

●●●**否定せず、「準備しますね」と伝えることも必要**

食事にまつわるトラブルに対しては、日常生活を規則正しく過ごすようにして食事時間を明確にしておくことや、食べ終わった食器をしばらく食卓にそのままにしておくなどの工夫が必要です。

時には、否定せず、「そうだね。今準備するから待っててね」とか、「遅くなつてすみません。もうすぐできますからね」と伝えるのもいいでしょう。そのうち食事のことを忘れてしまう場合も多いものです。また、「食べていない」というのが、認知症の方自身の不安・不満を表現していることもあります。その場合、「もうすぐ準備するから、ひとまずお茶でも飲みましょうか」と言っていっしょに会話を楽しむのも方法です。そうしているうちに気持ちが落ち着くこともあります。